

の各種ねじを一体化した構造であり、作業性が優れている事から発売以来、漏れ課題を抱える多

社担当者か緩み問題の解決相談に応じる。このほか、大好評を得ている「安全丸先ねじ」、通電

る。そのほかにも、大型機器類の手締め用途に開発した「ラジグリッパボルト/ナット」もP



アップ@スクリーナーは防水携帯向けに数億本の納入実績がある。軽量化および省スペース

ル、検査選別装置「MI STOL AI」、異種金属接合「AKROSE HYBRID」、ロボ

ン事例を披露する。会期中は実演・体験コーナーを設け、以下の内容で来場者へのPRを行

下を防ぐ画像検査選別の様子が見られる。▽振動検査装置「KizMIL II」は、振動(AEIIア

総 岡 受発注業務をペーパーレス化

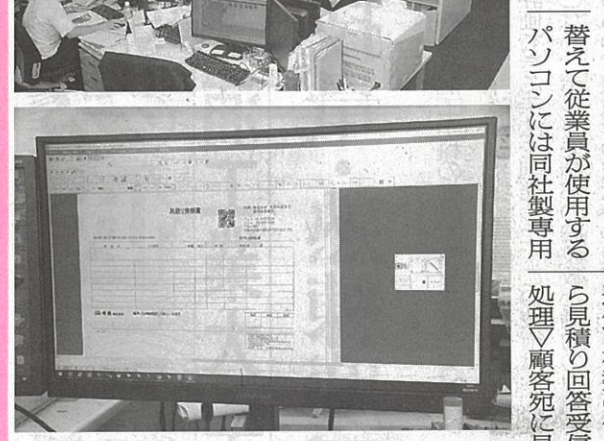
大阪九条支店で実施

岡総務(本社)大阪府中央区島之内1-14-19。尾崎正洋社長)では、昨今の働き方改革推進を根底とする業務効率化に向けて、受発注業務における改善活動の一環にFAX送受信で利用される見積り書の電子化によるペーパーレス体制構築を実施。先ずは大阪九条支店で段階的な試験運用が行われた後に本格的な切替えが実施済みで、今後は本社含む他の支店・営業所等でも切替え準備が進められていく。見積り書のペーパーレス化ならびにパソコン画面上でFAXの送受信操作が行えるため、離席率を抑え労働時間短縮に繋がった。また、FAXの電子化・ペーパーレス化を実現した事で自宅や出張先からも同様の業務が行え、テレワークにも対応可能な体制を整える結果となった。

同社では数年前より、働き方改革推進を根底とする取組みの一環に業務効率化を目標とした展開を図る中で、どのような改善が行えるかをネットワーク企業複数社から説明を受けるなどして慎重に検討を続けてきた。

そのような中、FAXによる見積りの依頼など受発注業務に関連したデータの電子化・ペーパーレス化が候補として挙げられ、プロジェクトチームを発足して昨年3月より

詳細な準備が進められてきた。導入先には、本社所在地・大阪を基盤に東北・沖縄まで幅広いエリアを担当し、一日1000件以上もの見積り処理が行われている東日本営業部および西日本営業部が設置されている大阪九条支店(大阪市港区弁天6-3-23)が選ばれた。プロジェクトチームから従業員への事前説明や勉強会の開催、半日の試験運用など準備を進め



大阪九条支店のモニターは一人2台体制に(上)。下は見積り依頼書の例

ると共に、複合機5台を富士ゼロックス(株)製に切り替えて従業員が使用するパソコンには同社製専用業務ソフトを導入したうえ、モニターを見積り依頼書作業用と販売管理システムへの入力用に一人2台体制へと移行。今春から試験運用を繰り返しながら切替えが行われ、現在は移行完了し順調にペーパーレスによる受発注業務が行われている。同社における受発注業務の主な流れは▽顧客よりFAXで見積り依頼書を受信▽支店長が各担当者へ見積り依頼書を振り分け▽担当者より仕入れ先へ見積り依頼をFAX送信▽複数の仕入れ先から見積り回答受信▽突合処理▽顧客宛に見積り書作成▽FAX送信▽見積り書のファイリング保管。これに対して、データ電子化およびペーパーレス化に移行した事で▽パソコン画面上でデータ書類のFAX送受信が行える▽顧客からの見積り依頼にはFAX番号をコンピュータが自動認識して各担当者のフォルダへデータ送信▽仕入れ先へ見積り依頼には担当者毎に定められたQRコードを貼り付けて送信する事で返信時には自身宛へと自動受信▽ファイリング保管も自動で顧客毎に整理され、電子化されたため検索が容易などがあ

る。そのほか操作の容易性も特長で、担当者印や即納など従来の紙媒体で行っていたハンコ捺印もパソコン画面上に羅列されているスタン卜から該当のものをクリックして選択できる仕組み。パソコン画面上で受発注業務が一貫して行えるためFAX使用による離席率を抑え、振り分け作業等もコンピュータが

自動で行うため総合的な労働時間短縮を実現するに至った。今後は販売管理システムといった基幹システムとの連携強化を目指すとともに、本社含

む他の支店・営業所・流通センターでも10月までを目途に富士ゼロックス(株)製複合機への切替え準備が進められている。加えてこのFAXの電

子化・ペーパーレス化を実現した事で自宅や出張先からも同様の業務が行え、テレワークにも対応可能な体制を整える結果にも繋がった。

の4色を限定色としてラインナップ。商品の詳細は同社ホームページ(htt ps: /www. ves sel. co. jp)まで。

電ドラボールに限定色 累計40万台記念に

ベッセル



No.220USB-1B (ブルー)

電ドラボールは、単体でねじ締め作業ができる画期的なハンドツール。仮締めは電動、本締めもそのまま手動に切り替えおこなえる。そのほか、本体先端はスリーブチャックで両頭・片頭ビットともに付替えが可能である。2018年の発売以来、幅広いユーザーから好評を得ており、今年8月には出荷台数が累計40万台を突破(2020年8月時点)。その記念に限定色として新たに4色(ブルー・グリーン・オレンジ・パープル)を追加し、人気の高さを基準にブルー・グリーン・オレンジ・パープル

【電ドラボール概要】主な特長▽約60分の充電(USBケーブル)でM4x20mmのねじ約200本の締め付けが可能。▽暗所でも作業が行えるように高輝度LEDライト付き。▽六角対応6.35mm両頭/片頭ビットが使えるスリーブ式チャック。▽3.6V・800mAhリチウムイオンバッテリー搭載。▽160gと軽量なため、腰サックに入れても軽い。等。電気設備・盤の組み立てから、機器・装置メンテナンス、自動車・二轮整備、DIY向けまで幅広い分野での使用に最適。